（憲法共同センター）2018年9月　憲法宣伝スポット（参考例）

　こんにちは。私たちは、労働組合や女性・中小業者・農民・青年・弁護士・医療団体などが力をあわせて、憲法を守り生かそうと活動する「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。

　私たちは思想信条を超えて多くの人たちと手をつなぎ、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす署名」を広げています。この署名に3,000万人のみなさんにご協力いただき、安倍政権による改憲の動きにストップをかけたいと願っています。ぜひ足を止めて署名にご協力ください。

　みなさん。安倍晋三氏が政権に復帰してから、まもなく６年が経とうとしています。この政権は、秘密保護法や安保法制＝戦争法、「共謀罪」法の強行など、憲法破壊の政治を続けたあげく、いまや憲法９条に自衛隊を書き込むなど、憲法改悪の動きを急加速させています。

　安倍首相は、今月行われる（いま行われている）自民党総裁選挙への出馬に際して、「次の国会に自民党の改憲案を出し、改憲発議をめざす」と言い出しました。「次の国会」とはこの秋の臨時国会をさすもので、たいへん重大な発言です。

　安倍首相と自民党は、先の総選挙でも参院選でも、憲法を争点にしていません。ところが、身内の総裁選挙では改憲を正面に掲げ、これに勝ったら「信任を得た」などと言って、国会と国民に押し付けてくるつもりです。「だまし討ち」ともいうべきこのようなやり方は、絶対に認められません。

　しかし、みなさん。安倍首相がいかに改憲への執念を燃やしても、平和を求める日本国民の世論は、これまでそれを許しませんでした。

　安倍首相の総裁選出馬表明を伝えた8月27日の新聞各紙では、共同通信の世論調査の結果も報じられていますが、秋の臨時国会に自民党改憲案を提出したいとする安倍首相の意向に「反対」と答えた人が49.0％と、半数近くを占めました。（賛成は36.7％です）。また、ＮＨＫの8月の世論調査でも、「自民党総裁選で争点として議論してほしいものは何か」との問いに、「経済・財政政策」が26.5％、「地方の活性化」が20.1％などとなっているのに対して、「憲法改正」はわずか6.4％にすぎません。国民の多くは、いまも改憲など望んでいないのです。

　もともと安倍首相は、先の通常国会での改憲発議をもくろんでいましたが、こうした国民世論に押され、自民党の改憲案を完成させることもできず、国会での議論も進みませんでした。それにもかかわらず、総裁選挙で一気に改憲を争点に持ち出し、自民党内の合意もないまま次の国会に改憲案を提出しようなどということは、世論を無視した乱暴な振る舞いと断ぜざるをえません。

　改憲へ暴走する安倍政権にストップをかけるため、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす3000万人署名」にご協力ください。

　安倍首相は「自衛隊違憲論」に終止符を打つことを改憲の口実にしています。しかし、いま問われているのは、自衛隊が「違憲か合憲か」ではなく、海外での武力行使を許すかどうかです。憲法に自衛隊を書き込めば、９条は空文化し、「戦争する国」への道を大っぴらに開くことなってしまいます。

　すでに防衛省は、2019年度予算の概算要求で、過去最大の５兆３千億円超を計上する方向で調整に入りました。陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」や、最新鋭ステルス戦闘機Ｆ３５Ａなど、高額な米国製の最新兵器を大量に購入し、米国とともに世界で戦争する準備を着々と進めています。

　防衛省は「北朝鮮の脅威」を軍拡の口実にしてきましたが、いま朝鮮半島で始まっている劇的な対話のプロセスをみれば、日本の軍拡は地域の平和に逆行するものです。

　また安倍首相は、先月の広島・長崎の平和祈念式典で、昨年に続き核兵器禁止条約に一言も触れませんでした。条約への署名を求める被爆者との懇談でも「不参加の立場は変わらない」と言い放って、深い失望と怒りを買いました。

　首相が改憲をめざす背景に、武力によって他国と競い合おうとする危険な動機がうかがわれます。このような危険な企てをやめさせ、「戦争放棄」を誓った日本国憲法を守るために、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす3000万人署名」にご協力ください。

　みなさん。名護市辺野古への米軍新基地建設に反対を貫いた沖縄県の翁長雄志知事が、去る8月8日に急逝しました。今月30日に投票が行われる知事選挙には、翁長さんの遺志を引き継ぐ「オール沖縄」勢力の候補として、玉城デニー衆議院議員が立候補を表明し、安倍政権丸抱えの候補者と一騎打ちでたたかう見通しになりました。この沖縄のたたかいは、沖縄の今後を大きく左右するのみならず、戦争か平和か、民主主義か強権か、日本の政治のあり方そのものを問う重大な政治戦です。

　沖縄県民に連帯し、戦争への道を拒否する私たちの思いを、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす3000万人署名」に込めましょう。どうぞ署名にご協力ください。

以上